

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:憲法)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

国際人権条約の国内的効力を日本国憲法との関連で論じなさい。

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:民法)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【試験問題】 次の事例問題を読んで、各問いに答えなさい。

(事例) Xは、空き地甲を所有しており、何か活用する方法はないかと考えていたところ、ビルの賃貸業と管理業を営むYの誘いを受け、Yの指導に従った設計や銀行融資を受け、Xは甲土地上に乙ビルを建設した。

さらに、XとYは相談の上、Yが乙ビルを10年間月額500万円で一括賃借し、さらに予め一括して転賃借の承諾を得て、Yはテナントを募集することとした。

そのテナント募集を受けて、Zは、Yから乙ビルの一室を5年間の期間、月額50万円で借り営業を始めた。Zの居酒屋は繁盛し営業を始めて1回更新し10年目を迎える段階となったが、さらに営業をつつきたいと思っている。

- (1) 以上の事案を前提にして、XY間の契約、YZ間の契約はそれぞれ何か。またその契約における当事者双方の主要な権利義務は何かを説明しなさい。
- (2) 上記の事案において、10年目を迎えた時点で、YはZとの契約を解除できるかについて論じなさい。
- (3) 上記の事案において、XY間の契約につきYの賃料支払いがしばしば滞っていた場合、XはYとの契約を解除できるか、また、その場合、Zの法的地位はどうなるかについて論じなさい。
- (4) 上記の事案で(3)を考えなくてよい、Yはあまり経営が思わしくないため賃貸業から撤退しようと考え、XY間の契約を合意解除し、または10年目の期間満了時にY側からXY間の契約の更新を拒絶し終了しようと考えた。
Xには特に自身でテナントを経営する意思はない。その場合、XY間の契約はどうなるか、またZの法的地位はどうなるかについて論じなさい。

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:税法)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の問題 1・問題 2 も解答せよ。

【問題 1】

課税要件明確主義と不確定概念(抽象的・多義的概念)の関係について、具体的に例示しながら検討しなさい。

【問題 2】

相続税課税方式において、いわゆる遺産課税方式と法定相続分課税方式に基づく遺産取得課税方式とがある。

- (1) 現行の課税方式はどちらを採用しているか述べよ。
- (2) 現行の課税方式の特徴を簡潔に述べるとともに、その利点と問題点について述べよ。

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:政治学)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日 (土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

「政治」ないし「政治学」とは何か。主要な先行研究に触れながら、その定義を論じなさい。

問題用紙 1 枚 解答用紙 1 枚 罫線横書き (文字数を指定しない)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:政治学)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の中から一語を選び、政治学における先行研究の概要、事例、現実の動きなどを示しながら論じなさい。

それぞれの解答の冒頭に ①権力などと書き、選択した語がわかるようにすること。

- ① 権力 ②ポピュリズム ③政党 (ないし政党システム) ④権威主義 ⑤半大統領制

問題用紙 1 枚 解答用紙 1 枚 罫線横書き (文字数を指定しない)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:国際政治学)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日 (土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の 3 つの問いの中から 2 つを選択して、それぞれ詳しく論じなさい。

①第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制

②冷戦期の封じ込め政策

③地球温暖化とパリ協定

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:ヨーロッパ政治論)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

ヨーロッパ政治論

現在のヨーロッパが混乱している要因について、その歴史的経緯を、以下の語を全て用いて論じなさい。なお、語の表現を多少変えることはかまわない(例 オイルショック→石油危機)が、各語の初出時には必ず下線を引きなさい。

福祉国家 68 年 オイルショック 新自由主義 グローバル化

問題用紙 1 枚 解答用紙 1 枚 罫線横書き(文字数を指定しない)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:ヨーロッパ政治論)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の語から一つを選んで説明しなさい。

- ① ポリアーキー
- ② 多極共存型民主主義

問題用紙 1 枚 解答用紙 1 枚 罫線横書き (文字数を指定しない)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:ヨーロッパ政治論)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下のヨーロッパ政治における出来事について、一つを選んで原因、概要、帰結などを説明しなさい。

- ① スターリン批判
- ② 東方外交
- ③ アルジェリア戦争

問題用紙 1 枚 解答用紙 1 枚 罫線横書き (文字数を指定しない)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:英語)

(法学研究科)

2025 年 2 月 22 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の文章を読み、問 1 及び問 2 に答えなさい。
(問題番号を解答の冒頭にそれぞれ明記すること)

【引用部分は削除しています】

(K. Zweigert & H. Kötz (translated by Tony Weir), *An Introduction to Comparative Law*,
Third Edition, Oxford University Press より抜粋し、一部改変)

- 問 1 この文章のタイトルを自分なりに考え、それを日本語で記しなさい。
- 問 2 この文章をすべて和訳しなさい。